

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和5年2月28日

事業所名:

ふあみさぼこ鹿児島南

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		令和5年4月に新しく高学年向けの事業所を開所する。環境設定を見直していく。	現在は、ご利用者の年齢層が幅広く、高学年と低学年のスペースを別で確保している状況から、配席等に工夫が必要な場面が多い状況である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープや手すりなど設置があり、バリアフリーな造りとなっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			昨年度実地指導を受け、業務改善を行っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			計画をもとに研修を実施している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○			モニタリングや面談の際にアセスメントの聞き取りも行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各月の担当者が固定化しないよう工夫を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		目的を持ち、課題の内容を決めて取り組んでいる。	今まで以上に、個々に合わせた支援が出来るようタイムスケジュールや内容を調整していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・昼礼にて確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時にその日の振り返りが出来ている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングで計画の変更については保護者とはなしを行い、決定することを心がけている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には、児発管が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時等で学校の先生と情報共有に努めている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			医療的ケア児の受け入れはない状況。受け入れが生じた際には、連携を図っていく。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			今後、情報共有を行えるよう、まずは保護者との確認の上進めていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			必要に応じて参加していく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			定期的なペアレントトレーニングは行っていないため、ニーズに応じて検討していく。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談時以外にも、保護者からの相談があった際には面談を実施している。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			コロナ感染症対策のため、中止していたが今後と取り組みを行っていく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			地域への買い物や外出等を行っているが、事業所への招待には至っていない。保護者のニーズも確認しながら、開かれた事業所になるよう取り組みを検討していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			計画をもとに、取り組みを行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会を定期的に行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギー調査は行っている。	調査票をもとに必要に応じて医療機関との連携を行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)